

2017 年度（平成 29 年度）事業報告書

兵庫セルフセンターが発足して 14 年目を迎えた平成 29 年度は、前年度に引き続き、兵庫県委託事業・神戸ふれあい工房店舗運営・障害福祉サービス事業「マイ・ワーク S E L P」の運営を通じて、各拠点、事業部門間が連携した販路拡大等の中間支援機能の強化と業務効率化に注力し、下記の通りの成果があった。

1 しごと開拓・受注窓口機能・商品等の販路拡大

(1) しごと開拓・受注窓口機能

しごと開拓員を配置し、年度を通じて行政機関や一般企業へ授産活動の周知としごと確保のための提案、営業活動を実施した。しごと開拓員が、民間企業・団体および国・兵庫県・市町行政機関等への訪問を実施した実績は、別紙 1・2 の通りである。

(2) 神戸ふれあい工房の運営

兵庫セルフセンターが運営受託をして 14 年目となった今年度は、神戸市役所 2 号館へ移転し、3 周年を迎えた。年間総売上額は前年度を上回り、フェア等の企画・インターネット販売・バザーイベント等と連携したお勧め品や季節商品を展示販売するコーナーを常時、店頭で継続展開することで、減少傾向であった店頭売上の向上や各種記念品の受注に結びつく実績もあった。

(3) インターネットを活用した販路拡大

SNS（Facebook・Instagram）を活用し、広報及び商品 PR を行い、手仕事を前提とした授産商品の使い方等を広く広報することで、商品の良さと作り手(事業所)の仕事の価値の訴求に努めた。インターネットを通じた販売チャネルとしてだけでなく、営業活動時に、+ N U K U M O R I のパンフレット等を切り口とした提案活動を活用することで下請け作業等の他案件の獲得にも繋がる事例もあり、当サイトを運営、活用することで県内授産商品の販路拡大と仕事の確保に繋がっている。

～ Facebook・Instagram を活用した商品 PR ～



(4) イベント・外販バザー等による販売活動

兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・+NUKUMORI 等を通じて、各地でのバザーやイベント等の実施または販売活動を展開した。平成 29 年度に兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・+NUKUMORI 等で実施したイベント・外販バザー実績は別紙 3 の通りである。

(5) 兵庫ブランド商品の販路拡大

今年度は、「兵庫ブランド商品」である、「有馬温泉炭酸煎餅サブレ」と「城崎温泉ライスサブレ」の 2 商品の市場流通に取り組んだ。

6 月より、昨年度開発した「有馬温泉炭酸煎餅サブレ」の発売を開始した。有馬温泉街の 18 旅館等での発売を皮切りに、その後も販路開拓に努め、3 月末時点では 20 旅館等での販売を確保した。

9 月より、新規開発商品である「城崎温泉ライスサブレ」を城崎温泉街の 12 の物産店で販売開始した。販路開拓に努め 3 月末時点では、17 の物産店・旅館を販路として確保した。

一昨年度、昨年度に開拓した特に売り場スペースを確保して頂いている既存取引先を中心として、商品 POP の改善や試食提供を提案する等して販売促進に努めた。

Japanese SAKE cake においては冷凍保存状態の在庫を確保し、タイムリーに販路先にデリバリーする体制を試行し、取引先の要望に応えることで販売数の増大を目指して活動した。兵庫ブランド商品の販売実績は、別紙 4-1・4-2 の通りである。

～ 有馬温泉炭酸煎餅サブレ・城崎温泉ライスサブレ ～



2 研修及び技術指導等

(1) 製造技術指導

障害者工賃向上アドバイザー派遣事業（兵庫県委託事業）及び農福連携による障害者の就農促進事業の活動として、各分野の専門家（製菓・デザイン・商品企画・農業等）を、申請書の提出があった事業所に対し派遣アドバイスまたは集合講習等を実施した。

障害者工賃向上アドバイザー（16名）	：	17事業所に派遣
農業専門家（4名）	：	2事業所に派遣

(2)「スイーツ甲子園」の実施

専門家のアドバイス・審査を通じて、よりよい製品の製造や、継続・安定した生産活動の実現を目的に、関西府県の行政、中間支援団体と連携し、第9回スイーツ甲子園開催した。

第9回スイーツ甲子園（県内予選）

平成29年10月12日（木）

【審査会・結果発表会】兵庫県福祉センター1階多目的ホール

第9回スイーツ甲子園（本選）

平成29年11月23日（木祝）

【試食投票・販売】 元町6丁目商店街

【審査会】 トヨタハートフルプラザ神戸3階会議室

【結果発表会】 トヨタハートフルプラザ神戸2階

県内の予選会を経て、よりレベルの高い広域での本選を目指すというステップを参加事業所と共有することで、次年度以降の目標を設定し、商品を改善するといった流れを作ることが出来たと考えている。また、広く県内事業所の製品に対する改善点等の気付きを提供することが出来、県内事業所の底上げにつながると考える。エントリー商品・事業所等は下記の通りである。

- | | | |
|--------|-------------|-----------------|
| ① 兵庫県 | 赤穂塩ラスク（箱入り） | 赤穂精華園ほのか工房 |
| ② 奈良県 | 奈良のこめこちゅいる | スイーツファクトリーモンステラ |
| ③ 京都府 | 与謝野ころ柿ロール | リフレかやの里 |
| ④ 大阪府 | 麸わりんきび | くらし工房けいはん |
| ⑤ 和歌山県 | フルーツパウンドケーキ | くじら共同作業所 |
| ⑥ 徳島県 | 伝統黒米タルト | シーズ今津 |

（グランプリは①赤穂塩ラスク（箱入り）、準グランプリは④麸わりんきびが受賞）

～ 元町6丁目商店街での試食投票販売の様子 ～





(3) 発達障害を持つ大学生の就業・生活支援セミナー

大学における発達障害を持つ在学学生に対する各種の支援について共に考えるセミナーを実施した。

日時	平成29年9月13日(水) 13:30~		
会場	PEAKS神戸		
主催	兵庫県健康福祉部障害福祉局		
講演及び講師	講演会Ⅰ 「配慮を必要とする発達障害を持つ学生への大学における修学支援と就労支援」 プール学院大学教育学部教育学科准教授 松久眞実氏		
	講演会Ⅱ 「就労移行支援事業の紹介」 NPO法人ピークスネットワークPEAKS神戸 理事長・所長 古川直樹氏		
参加者	大学・学校	13校	・16名
	その他	7団体	・10名

3 旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業

兵庫県を代表する観光地である城崎温泉・有馬温泉において、障害者が旅館業での「おもてなし」を学び、普段体験することの出来ない温泉旅館での業務体験を通じて障害者の職域を広げ、一般就労への促進に取り組んだ。

【城崎温泉障害者インターンシップ事業】

実施期間 平成29年10月23日(月)~24日(火) 全2日間
 研修生 5事業所・7名
 受入企業 やなぎ荘、大西屋水翔苑、まつや、小宿縁(*)、ときわ別館(*)、

出口物産（*）、地藏湯（*）

主催 兵庫県、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合、兵庫県身体障害者福祉協会、
後援 城崎温泉旅館協同組合、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部

【有馬温泉障害者インターンシップ事業】

実施期間 平成 29 年 11 月 30 日（木）～ 平成 30 年 2 月 8 日（木）
研修生 11 事業所・23 名
受入企業 有馬ロイヤルホテル、御所坊、ねぎや陵楓閣、龍泉閣、竹取亭円山、
有馬グランドホテル（*）、三ツ森、平野屋本舗、有馬せんべい本舗、
有馬リネンサプライ、有馬温泉観光総合案内所 （*）は新規受入企業
主催 兵庫県、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合
協力 有馬温泉旅館協同組合、有馬温泉観光協会
運営 有馬温泉ゆけむりインターンシップ SCHOOL 実行委員会

～ 職業体験の様子 ～



清掃



清掃



客室整備



煎餅袋とじ



煎餅の包装



煎餅の成形

4 障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型事業所「マイ・ワーク SELP」）

平成 25 年 3 月に開設した「マイ・ワーク SELP」は、5 年目を迎えた。

それぞれの利用者ニーズに応じた支援メニューと開設当初のコンセプトである中間支援の要素を活かした事業展開を両立させるべく事業展開し、登録利用者数及び訓練等給付費は前年度に比べ微増であった。月に一度のケース会議においては、勉強会も併催し、職員の支援スキルの向上に努めた。

5 セミナー・研修の企画及び実施

(1) 未来を担う福祉人財（材）セミナー

前年度に引き続き、サービス管理責任者及び管理者候補、リーダー候補等の福祉に関わる方々を対象とした「福祉人財（材）セミナー」を実施した。

日時	平成 30 年 3 月 27 日（火） 13：30～16：30
会場	JEC 日本研修センター 神戸元町 大会議室 A（3 階）
主催	兵庫県社会就労センター協議会・NPO 法人兵庫セルフセンター
講演及び講師	オープニングセッション 「リーダーの仕事」 NPO 法人兵庫セルフセンター 理事長 山崎玲輔 講演会 「変化に対応する！若手リーダーの「本音」～これまでとこれから～」 社会福祉法人一峰会 あすなる共同作業所 所長 笠松 彩 氏
参加者	12 団体・30 名

6 立命館大学経営学部にてキントーンを使った情報システムの開発

立命館大学経営学部横田ゼミの学生と共働で kintone アプリの開発に取り組んだ。

行政や企業から仕事を受注し、福祉事業所に業務斡旋や販売会などのイベント開催も多く、法人内にはそれぞれの業務に関する情報が大量に蓄積されており情報把握までに時間を要する課題があったが、学生グループにより、個別に管理されていた情報をメインリストと呼ぶアプリにすべて集約し、一元管理する仕組みを作っていたいただいた。

～ IT による課題解決が披露された kintoneCafé 大阪 立命館大学 Special の様子 ～



7 他団体との共同・連携・協力

行政事業・自主事業・障害福祉サービス事業等の事業推進に際し、各団体との連携協力を実施した。平成 29 年度に共同・連携・協力等した団体等は下記の通りである。(順不同)

- 兵庫県社会就労センター協議会
- 兵庫県社会福祉協議会
- ひめじ授産振興センターレガール
- 関西広域ネットワーク (兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・鳥取県・徳島県・富山県の行政担当者及び中間支援団体が参画)
- 日本セルフセンター
- 兵庫県社会福祉事業団

8 情報発信や事業・商品等の案内及び紹介

ホームページ・Facebook・メール配信等を活用し、各種イベント・セミナー案内及び募集、商品情報等を発信した。また、他団体主催及び実施等の広報活動にも協力した。

～ ホームページ・Facebook ページ ～

